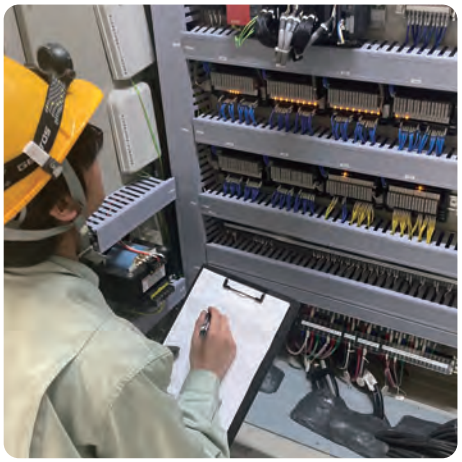
先輩社員の声

弊社社員インタビュー。
各職種の仕事内容や入社のきっかけ、入社後の感想をご紹介。

営業（2007年新卒入社）…… P1-3
工場オペレーター（2011年中途入社）…… P4-5
機械オペレーター（2011年中途入社）…… P6-7
プラント設備管理（2012年中途入社）…… P8-9
大型トラックドライバー（2012年中途入社）… P10-11
採鉱（2018年新卒入社）…… P12-13
設備（2022年新卒入社）…… P14-15
総務課経理係（2023年新卒入社）…… P16-18



営業の声

完全ルート営業、ノルマなし

当社の営業は、ルート営業。何十年も前からお取引きいただいているお客様がほとんどです。商品を売り込むようなタイプの営業ではないので、そこで苦労することはありません。もちろんノルマもないです。週に2日ほど外出し、担当顧客を訪問。必要な石灰製品の納品量と納期を確認し、それを社内の生産部門に伝える。それが基本となります。他の日は、営業の準備や資料作成などのデスクワークをしています。

知識ゼロからのスタート

入社するまでは石灰のことなんてほとんど知りませんでした。グラウンドに白いラインを引くやつでしょ、くらいの知識で。知識ゼロからのスタートです。入社後、石灰が驚くほど幅広い用途に使われていることを知りました。私が担当している顧客に限っても、製鉄、製紙、廃棄物処理施設、水処理施設、製糖メーカー、商社と、様々な分野の取引先があります。現在、中国地方の40社ほどを担当しています。

お客様にご相談いただける関係づく

まれに新商品の提案をするチャンスが訪れることがあります。例えば廃棄物処理施設を運営するお客様から「この有害物質を処理できる化学薬品はないか」といった相談を受けることがあります。石灰製品を納品しているお客様から、石灰とは別の製品を購入していただけるケースがあるのです。なにかあったときにこのような相談をしていただける関係を、普段からつくっておくことが大切ですね。

急がず、ゆっくり育てます。

私もそうだったように、最初はなにも分からなくて大丈夫。当社では新入社員をいきなり客先へ行かせるようなことはしません。まずは社内で「配車係」を経験して、知識を身につけていきます。これは電話・FAXでお客様からの注文を受け、納品のための車両の段取りをする業務。それを2年ほど経験したのち、担当顧客を持つことになります。研修制度も充実しているので、一歩一歩、着実に成長することができます。

夕方5時過ぎには家にいます

残業はほとんどありません。毎日ぼぼ定時（夕方4時35分）に帰ります。5時過ぎにはだいたい家にいます。プライベートの時間を大事にできて、無理なく働ける環境です。また当社は有給休暇を取りやすい社風なので、その点もうれしいですね。私は月に1回は有給を使ってます。家族と遊びに出かけたり、実家の田植えを手伝うときに使ったり。制度においても社風においても、とても働きやすい会社だと思います。

営業（2007年新卒入社）

久しぶりの大学新卒採用です

当社は辞める人が少なく、また大幅な増員も必要ないので、大学新卒を毎年採用しているわけではありません。営業部では、2007年に入社した私が最後の新卒入社社員。そんな中、久しぶりの募集となりました。足立石灰工業は、新見の人なら誰もが名前を知っている有名地元企業。また、石灰の需要はなくなることがないので業績も安定しており、就職先としてはとても魅力的だと思います。後輩ができるのを楽しみにしています。

工場オペレーターの声

9つの工場設備を監視する

当社では、採掘した石灰石を砕いたり焼いたりすることで石灰製品をつくっています。広大な敷地の中に9つの工場があり、様々な種類の機械が稼働しています。そのうち、いくつかの機械は24時間休まず動き続けています。それらの機械を操作・監視し、正常に動いているかを見守るのが私たち工場オペレーターです。各機械の現在の状態がパソコンのモニターに表示されているので、それを操作室でチェックすることが基本となります。

トラブルを未然に防ぐ重要なポジション

多くの機械設備があるため、なにも起こらない日はほとんどありません。1日に1回以上は、なんらかの機械トラブルが発生します。石灰の粉が詰まったり、炉の火が消えてしまったり。トラブルが発生したときは現場へ行って原因を探り、正常な状態に戻します。一人で解決できるケースがほとんどですが、応援を呼ばなくてはならないこともあります。大きなトラブルや故障を未然に防ぐ、重要な役割を担っています。

警報よりも早く異常を察知する力

トラブルが発生したら監視モニターの警報が鳴るので分かるのですが、経験を積んだ工場オペレーターは、警報が鳴る前に「おかしいぞ」と気づくことができます。例えば温度を表示している数値がいつもより高くなっているときなどです。普段の正常な状態の数値が頭に入っていれば、少しの変化が分かり、警報が鳴る前に察知することができるのです。対処が早ければ早いほど機械のダメージが少なくて済みます。

目だけではなく「におい」と「音」で気づく

操作室でのモニター監視に加えて、機械を自分の目で見て直接チェックする「外まわり」もおこないます。私が注意しているのは「におい」と「音」。例えば「なんとなく焦げ臭いな」と感じてよく調べたら、コンベアのベルトが外れて焼けていたことがあります。また、「機械の作動音が普段と少し違うな」と感じることがあります。これは目に見えるトラブルが発生する前の、異常の前ぶれです。こうしたことが、毎日のチェックの積み重ねでだんだん分かるようになってきます。

毎年、有給休暇をすべて使っています

日勤・遅番・夜勤をローテーションで5日間ずつ担当する3交替制勤務です。私も中途入社で3交替は初めてだったのですが、入社してしばらくすると慣れました。実働時間は7時間15分と一般的な企業より短く、また残業も少ないため働きやすいです。休日は社内カレンダーで決まっており、平日休みが多いのですが、土日に休みたいときは有給休暇を使えるので不便さはないです。当社は有休を気兼ねなく取ることができる社風。私は毎年、有休をすべて使い切っています（入社7年目現在、年間21日付与）。

機械オペレーターの声

明るいうちに家に帰る、健康的な生活

私も転職者です。前職では毎日残業が2~3時間あり、夜勤もあったのでいつも疲れていました。当社は実働時間が7時間15分と短く、しかも残業はほとんどありません。毎日、明るいうちに家に帰ってゆっくりできるので、今は健康的に過ごすことができています。前職では少し熱があっても無理して出勤しなければならず、よけいに体調不良が長引くことが多かったのですが、ここではそんな無理をすることはありません。いつでも有給休暇が取れる社風なので、精神的にもたいへんラクです。

「なにも起こらない状態」を維持する仕事

私たち機械オペレーターは、砕いた石灰石を大きさごとに選り分ける「選鉱設備」を操作しています。スイッチを入れて動かすだけなので機械操作は難しくありません。一度動かし始めたら、あとはオペレーター室に座ってモニターを監視し、機械が正常に動いているかを見守ります。それに加え、実際に工場の機械を見てまわり、点検と掃除をおこなう「外まわり」が1日に1~2時間ほどあります。普段はモニターを見ているだけの平穏な時間が続きますが、この「なにも起こらない状態」を維持するのが、私たちの役割です。

機械オペレーター（2011年中途入社）

耳栓とマスク

オペレーター室は空調が効いていて快適ですが、機械の稼働音がかなり大きく、業務中は耳栓をつけておかなくてはなりません。また外まわり業務では、石灰の粉塵が舞う中をマスクをつけて掃除したり、油の交換をしたりします。こうした騒音や汚れなどが苦手な方には向いていないかもしれません。仕事は、仲間4人でお互いに協力しあっているので心強いですよ。

自分の意見を言いやすい社風

日々の点検と掃除をしていれば自分の役割を果たすことにはなるのですが、私は常に「改善できるところはないか」「もっと効率よくできないか」と考えるようにしています。例えば以前、みんなで雑談しているときに出てきたのが、ヘルメットの変更案。私たちが見まわりをする現場は頭を打ちそうなところが多いので、「上が見やすいヘルメットに変えよう」という意見を会社に出し、採用されました。当社は、年齢や経験を問わず自分の意見を言いやすい雰囲気の会社。ちょっとしたことでも、気づいたことは上司に提案するようにしています。

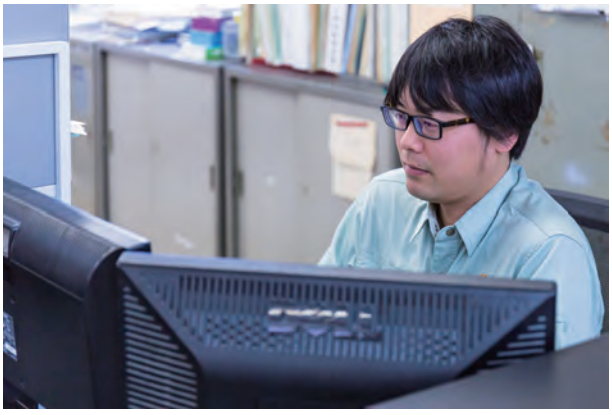
さらに知識を身につけ、成長したい

今後は、自分が管理している機械についての知識をさらに深めていきたいと思っています。深い知識を持たなくても、毎日の仕事をこなすことはできます。でも私はもっと詳しくなりたい。詳しくなればなるほど、その知識をもとにした改善案が出せるようになるからです。毎日少しずつですが、「このベルトの材質は」「このモーターの種類は」と、自分で調べたり、上司に聞いたりしながら知識を身につけていっています。いっけん単調に見える仕事ですが、自分次第で、プロとして成長を続けることができると思います。

プラント設備管理の声

様々な種類の工事を管理する仕事

当社は石灰石の採掘から破砕、加工、製品化までを一貫しておこなっており、広大な敷地の中に様々なプラント設備があります。その整備計画･修理計画をおこなうのが、私たちプラント設備管理です。工場は何十年も稼働し続けているので、日々、様々な場所で修理や新しい機械の導入が必要になります。プラント工事と一口に言っても、機械工事、電気工事、塗装工事、配管工事、土木工事など目的によって様々。スケジュールを決め、業者さんに工事を発注し、段取りを組み、現場に立ち合い、計画通りに工事が進むよう管理するのが私たちの仕事です。



敷地内に仕事の実績が増えていく喜

工事が終わり、試運転で機械が無事に動いたときは毎回うれしいですね。自分の手がけた設備が目に見える形でずっと残るという点もやりがいになっています。入社して初めて手がけたのは生石灰粉末タンク（容量150トン）の設置工事だったのですが、その巨大なタンクも毎日構内を歩けば自然と目に入ってきます。この広大な敷地の中に、仕事の実績が一つひとつ増えていくことが自分の喜びになっています。

毎回、違う工事を手がける面白さ

入社して5年経ちますが、まったく同じ種類の工事はまだ一度も経験していません。毎回、違う。例えば油配管を修理する。例えば新しい倉庫を建てる。例えば機械設備を新型に替える。そのつどお願いする業者さんも違うし、やるべき段取りも変わってきます。毎回違うというのは、この仕事の難しい面でもありますが、同時に面白みでもあります。一回一回の経験の積み重ねが、自分を育ててくれる。きっと10年くらい経てば「これ前にもやったな」という案件が出てくるでしょうね。そうなれば本当のプロと言えるのかもしれません。

自分の意見を言いやすい社風

当社は、ポジションを問わず社員一人ひとりが自分の意見を言いやすい社風。「こうしたほうがいいんじゃないか」と思ったことは気軽に上司に言えるし、良い提案はちゃんと採用されます。私の最近の例で言うと、新規導入予定のベルトコンベアに、当初は入れる予定のなかった「磁選機」を使ったらどうか、と提案して採用されました。磁選機というのは磁力によって異物を排除する装置なのですが、過去の経験から、導入したほうがよいだろうと判断したのです。こうした発想は、仕事を受け身でやっていては出てこないと思います。「もっと良い方法はないか?」「本当にこれがベストか?」と常に意識して考えることを心がけています。

評判通りの会社でした

私は中途入社で、前職はまったくの異業種。前の会社では毎日、夜遅くまで残業があって疲れ切っていたのですが、当社に入って生活がガラッと変わりました。残業はほとんどなく、毎日、ほぼ定時（夕方4時35分）に帰っています。職場はわきあいあいとした雰囲気で、みんな仲がいい。実は入社前、地元新見の友人や知り合いに「足立石灰工業ってどうなんだろ?」と聞いてまわったのですが、返ってくるのは良い評判ばかりでした。私自身も実際にここで働いてみて、今、胸を張って当社をお勧めできます。

大型トラックドライバーの声

早く帰って、ゆったり生活

残業は週に1度あるかないかで、ほとんどの日は定時に帰っています。当社の実働時間は一般的な企業より短い7時間15分。夕方には仕事が終わるので余裕のある生活ができます。私も中途入社なのですが、前職は残業が多く、夜遅く帰っていたので、転職して生活ががらっと変わりました。また有給休暇が取りやすい社風なのもうれしいですね。子供の保育園の行事のときなどに有休を使っています。

大型トラックドライバー（2012年中途入社）

短距離を移動するドライバー

当社は石灰石の採掘から破砕、加工、製品化までを一貫しておこなっています。広大な敷地の中にいくつかの工場があるのですが、各工程の中で原料や製品を工場から工場へ移動させる必要が出てきます。その運搬を担うのが私たちトラックドライバー。一般的なドライバー職と違い、構内の短い距離を何往復もする仕事です。運ぶものの種類によってトラックを乗り換えるので、10トン車、20トン車、ジェットパック車（粉粒体運搬車）と、1日のあいだに何タイプかの車に乗ります。

社員同士の仲がいい

雰囲気が良く、社員同士の仲がいい会社です。ドライバー職は仕事をしているときは1人ですが、休憩中にはみんなでワイワイ雑談。年齢層はいろいろですが、気を遣わなくていい関係なのでラクですね。それと釣りが好きなので、他部署も含め社内の釣り好きを誘って一緒に釣りに行ったりしています。年に1回、日本海へ出かけてイカ釣り大会もやってるんですよ。15人ほど参加してますが、他部署の人たちと交流ができるのも楽しいですね。

採鉱の声

採鉱課での業務

採鉱課は、鉱山での石灰石採掘を担う部署です。採掘には火薬類を使用した「発破」と、発破後砕かれた石灰石を油圧ショベルや大型ダンプで収集・輸送を行います。その他、採掘にともなう作業工程の管理や、鉱山全体の安全保守も採鉱課が担う業務となります。
私は新卒入社後採鉱課に配属となり、現在まで採鉱業務と事務を担当しています。

▲発破の瞬間（鉱山上空から）

就職のきっかけ

就活の際は地元企業を志望しており、岡山市の合同説明会、企業のホームページ、大学の就職支援センターやハローワーク等に通い情報収集を重ねた中で弊社に応募しました。
石灰業は地元新見市の主力産業の一つであることと、在学中に学んだ物理や地学の知識が仕事で活かせる業界であることが決め手としては大きかったです。

採鉱（2018年新卒入社）

▲鉱山で使用される大型ダンプとホイールローダ。
社会見学に来た子供たちに好評です。

やりがいを感じること

採鉱業務において学んだことが活かせる場面もありますが、初めて経験する事も多々あります。
そうした際お互いの意見を交換したり、素直に質問できる上司や同僚と臆せず仕事に取り組めることは日々のやりがいに繋がっています。
過去にそれを実感したエピソードですが、採鉱課では発破による採掘を行っていますが、発破時の振動を抑えることが必要になった際にこれまで学んだ知識をもとに提案したことがありました。

社風や制度について

先輩の方々や上司の方々とも気軽に話ができるので、「こういうことがしてほしい」などの声が非常に届きやすいです。
その為、報告連絡相談などもスムーズに行うことができ、仕事の職場環境としては働きやすい職場だと感じています。その他、有給取得の柔軟さや資格取得支援制度など社員の生活と成長への配慮も感じています。
自分の能力を生かしたい方はもちろん、一から勉強したい方どちらにも向いた職場だと思います。

設備の声

現在の職業を選んだ理由を教えてください

高校1年生の頃から地元新見市で就職して、地域や市に貢献したいと決めていました。当時、地元にある会社のことがあまり分からず、就職先に悩んでいた時に祖父に相談しました。その時、市の地場産業である石灰業について教えてもらい、少し興味を持ちました。また、祖父が昔働いていた足立石灰工業について教えてもらうと、さらに興味が深まりました。

高校2年生の時には足立石灰工業にインターンさせていただきました。会社や社員の皆さんの雰囲気、地域に貢献できる仕事の内容など魅力がたくさんあり、会社の一員として力になりたいという気持ちが強くなったため、足立石灰工業に就職しました。

どんな仕事をしていますか

会社の設備・プラントなどの修理、点検、改良など社内修理を主に行っています。現場で不具合のある設備を修理したり、設備の改良に必要な物を製作したりと毎日仕事の内容が変わるので、覚えることがたくさんあり大変です。しかし、さまざまな業務を経験することができるため、知識やできることが少しずつ増えています。「次はこれについてもっと知りたい」「この作業を上手にできるようになりたい」と自分自身を成長させたいと思いながら、毎日楽しく働いています。

設備（2022年新卒入社）

どんな時にやりがいを感じますか

まだ一人でできる仕事が限られている中で、一人で工具を使って簡単な物を作ることができた時や重い荷物を運ぶことができた時など、できる仕事をやり遂げた時に、いちばんやりがいを感じます。
また、溶接やガスを使った金属板の切断など、難しい作業を練習して上達した時にもやりがいを感じます。

目指す将来像を教えてください

先輩方の、難しい作業を丁寧かつ手早く行うところや、経験に基づいたアイデアが豊富なところ、想定外のことにも臨機応変にすぐに対応できるところに憧れています。
私も憧れの先輩方のようになれるように努力し、小さな成長を積み重ねていきたいと思います。

総務課経理係の声

現在の仕事内容と志望した理由を教えてください

新卒採用で総務課経理係に配属され1年を過ぎました。現在は経費の精算や支払処理など日常業務を主に担当しつつ、少しずつ増えていく新しい仕事の手順や仕組みを覚えているところです。
大学は経営学部で、在学中に簿記の資格も取得しましたが、実務に関わってみて学ぶことの多い仕事だと日々実感しています。先輩・上司がすぐ隣のデスクにおり、質問もしやすい雰囲気なので遠慮せず質問しています。

地元を離れ、馴染みの無い業界への就職

就職活動では興味のあった経理職を志望していましたが、経理は中途採用が多く新卒募集が少ないため、条件さえ合えば県外も視野にありました。そんな中、合同企業説明会に出展していた足立石灰工業のブースに立ち寄り、会社のことや業界について初めて知りました。石灰の役割や、新見市が石灰の産地であることも知らなかった状態ではあったのですが、丁寧で熱心に説明いただいたことから関心を持ち会社見学を経て応募しました。
石灰製品や業界については、入社後の研修を通じて知ることが大半でしたが、さまざまな製品や業種で使われていることや、毎月の出荷量や24時間稼働している工場を見るにつれ、自社が扱う商材の重要さや地域経済への影響力を実感しています。

社員寮での暮らし

生まれも育ちも岡山市内で大学も実家から通える距離でしたが、通勤するには流石に距離がありますので、入社後は会社敷地内にある単身向け社員寮で暮らしています。

初めての一人暮らしですが、平日は朝・昼・夕三食の提供があり、服も基本制服なため、料理や洗濯に追われるといったことはあまりありません。食費は利用回数分、寮費には水道光熱費なども含まれているため固定費もおおよそ決まっています。ですので、むしろちょっと気楽かも?なんて思う日もあります。

ただ、1年過ごしてみて同じ岡山でも県北の冬はこんなに寒いんだ…!と実感しました。冬は暖房が欠かせません。あと山の中なので虫が多いことにもちょっとびっくりしています。

▲ 寮の自室

私の世代は大学4年間の大半がコロナ禍で、自宅でオンライン講義を受けて過ごしました。 サークルで集まったり、飲み会や旅行などもなかなかできなかったので一人で過ごすことに耐性ができてしまったかもしれません。

今は反動もあってか、週末は車で岡山や米子に出て買い物や外食したり、大学時代の友人に会いに県外へ出かけるのが楽しみです。青婦部（若手社員のグループ）で焼肉したり、先輩と山陰へイカ釣りに行ったりもしています。

寮にはネット環境もありますので、部屋に籠ってゲーム三昧の日もあります（笑）。

総務課 経理係（2023年新卒入社）

▲ 寮の敷地にある家庭菜園。ちょうど収穫されたばかりだったため青いトマトだけ（笑）

▲ 初夏には寮のお風呂から蛍が飛ぶ姿も見れるそう。

経理職としてのこれから

正確さが求められる仕事なので、日々の業務に向き合いつつ経験を重ねて経理マンとして一人前になることが目標です。